



だいでこるだより

2017年度
3月号

3月3日はひなまつり

「ひなまつり」の始まりは、3月最初の己（み）の日に身を清め厄除けをする習慣が中国から伝来したと言われています。「形代（かたしろ）」として、小さな人形を作り、それが災いを引き受けてくれると考えられていました。その人形に、感謝と供養を込めてご馳走を作ったのが、まつりの始まりとされています。巳の日は蛇を表し、へびは脱皮することから、再生する命、強い生命力の象徴とされています。



祭りを彩る食べ物

ひなまつりに縁のある食べ物の中で今回は菱餅に注目しました。定番の菱餅ですが、調べてみると深い意味と節句に寄せる古来からの願いも見えてきました。

そもそも、「菱」とは全国でみられる浮葉(水草)植物です。菱型というのも、この植物の葉の形がルーツと言われています。種は固い殻に覆われ、鋭いとげがあるので古くは忍者が追っ手の足を遅らせるためにまいたり(まき菱)、長時間潜伏するための非常食にもなったそう。

植物の菱の強い繁殖力にあやかり節句では子孫繁栄を願うものとして餅になっていますが、家紋にもなっていますね。菱の実の滋養強壮に良いとされ、赤白緑の三段の餅では、白い餅に菱の実を入れて清らかな雪を表します。赤い餅は解毒作用のあるくちなしで色づけ、厄除けの意味を持つ桃の花を表し、緑の餅は造血作用のあるよもぎ餅で健康を祈る新緑の若葉を表しているそうです。



お弁当のお願い

3月23日(金)は、お楽しみ・お別れ遠足の為、ご家庭でお弁当の用意をよろしくお願ひします。おやつは保育園で用意したものを食べます。



郷土

 **和歌山県 めはりずし**

和歌山県と三重県にまたがる熊野地方の郷土料理で、高菜の浅漬けでくるんだおにぎりです。元は非常に大きな握り飯だったことから、口を大きく開けてかぶりつくと目を見張ったような顔つきになることから、「目張り寿司」と呼ばれるようになったと考えられています。



世界

 **オーストラリア ラミントン**

スポンジの間にジャムやクリームを挟み、周りをチョコレートでコーティングした後ココナッツをまぶしてあるお菓子です。クィーンズ州のラミントン男爵の帽子に形が似ていたことから名前がついたとも言われています。



3/6頃

けいちつ **啓蟄**

くらしのこよみ **くらしのこよみ**

しゅんぶん **春分**

3/20頃

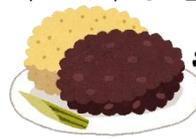
土の中で冬ごもりしていた虫やカエルが春の気配を感じて外に出てくる頃。天気がぐずつくことが多いが一雨ごとに気温が上がり草木の成長が促される。



春だ♪



昼夜の長さが同じになる日。夏至までの間、昼の時間が徐々に長くなってゆく。気温の上昇率が1年で1番大きい時期になる。



春はぼたもち
秋はおはぎ





干し柿を収穫しました



12月

紐に茎を通して吊るし棒にかけました



1月
柿もみ



柔らかくなるまで傷つけないようしっかりもみしました。コツをつかむとあっと

いう間にできました！



3月



つるし紐から柿を取り外し、固くなっているへたを取りました。

玄関で毎日見ていた子どもたちは食べられることを楽しみにしていました。



甘酢和えに加えて美味しくいただきました。よく噛むと甘味が出てきておいしい！と好評でした。

